



～にし～

Good News 特集号

■第五商業高等学校
全日制課程

『ビジネスプラン』特設授業

■第五商業高等学校 全日制課程「ビジネスプラン」特設授業

平成29年7月13日（木）、本校視聴覚室において、第2学年を対象とした日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」の特設授業が実施されました。今回の授業は、4月18日（火）に実施された同特設授業の「基礎編」に続く「実践編」で、一連の特設授業は、10月の「ブラッシュアップ編」も併せて全3回行われます。一連の特設授業を経て、2年生の生徒達はビジネスプランシートを完成させ、校内での発表会を実施後、「高校生ビジネスプラン・グランプリ」へ応募・提出となります。

日本政策金融公庫の「高校生ビジネスプラン・グランプリ」のねらいは、実社会で求められる「自ら考え、行動する力」を養うことができる起業教育の推進です。そして、本校における特設授業のねらいと「高校生ビジネスプラン・グランプリ」への応募の趣旨は、都立商業高校生として、ビジネスの専門性を深めるとともに、「ビジネスアイデア」に取り組み、創造性などを高めることです。

当日は、日本政策金融公庫多摩創業支援センターから、前回に引き続き、葛貫怜さんを講師としてお招きしました。葛貫怜さんには、ビジネスプランの作り方「実践編」と題して、ビジネスプラン完成までの手順や考え方、ビジネスプランの具体的事例について話していただきながら、生徒達が7月までにグループ作成したビジネスプランを再考察していただきました。

実際のビジネスプランシートの作成では、①「商品・サービス」：豊かな発想や着眼点、地域社会に貢献する内容であるか、②「顧客（ターゲット）」：ニーズを把握しているか、具体的な顧客を想定しているか、販売方法や広告方法が具体的で、商品・サービスと一致しているか、③「必要な経営資源等」：ヒト・モノ・技術・ノウハウ等が考慮されているか、考えられるハードルやリスクを考慮しているか、④「収支計画」：ビジネスを継続できるだけの売上・利益が見込まれるか、以上4つの視点から講義していただきました。生徒達はグループ協議を通してビジネスプランの内容をまとめ上げ、グループごとにビジネスプランを作成し、提出しました。

生徒達には、夏季休業中の課題として、マーケティング演習を課しています。この課題を踏まえ、9月に一橋大学やNPO法人KFと連携したマーケティングの特設授業を行い、ビジネスの専門性に磨きをかけます。そして、10月に実施する第3回ビジネスプラン特設授業「ブラッシュアップ編」に臨み、「高校生ビジネスプラン・グランプリ」へ応募・提出となります。

特設授業の様子



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468